



平成26年度採択 文部科学省「地(知)の拠点整備事業」
青森ブランドの価値を創る地域人財の育成
平成29年度 事業成果報告書





地(知)の拠点



平成26年度採択 文部科学省「地(知)の拠点整備事業」

青森ブランドの価値を創る地域人財の育成

平成29年度 事業成果報告書



弘前大学



文部科学省

地(知)の拠点

目次

COC推進室長 挨拶	1
「地域志向」大学改革宣言(学長宣言)	2
1. 事業概要	3
2. 実施体制	7
3. 教育	11
4. 研究	21
5. 社会貢献	27
6. 評価	37
7. アンケート	43
8. 参考資料	55



文部科学省

地(知)の拠点

COC 推進室長 挨拶

弘前大学は、平成26年度に文部科学省「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」に採択されました。本学の事業名は「青森ブランドの価値を創る地域人財の育成」です。本事業を中心に、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献にわたる多様な取組を展開しているところです。

事業の4年目となる平成29年度は、これまでの3年間にわたる地域志向の取組をより深めることに重点を置いてまいりました。

教育分野では、平成28年度から本格開始した新しい教養教育において、文理や学部の枠を越えて、各々の専門知を結集し、地域課題解決に主体的に取り組む「学部越境型地域志向科目」や、地域で働こうとする意思・意欲の醸成に寄与する「キャリア形成の発展」を開講しています。また、講義とインターンシップによって、学問知と実践知の両方を体得する「6次産業化マイスター育成プログラム」を実施するなど、より主体的な学習の実践を進めてまいりました。

研究分野では、「青森ブランド価値創造研究」において意欲的な研究が継続され、ビジネスモデルの構築や商品開発の検討が順調に進められています。

また、社会貢献分野では、地域課題をテーマとした公開講座をより充実させ、地域のリーダー的人財の育成を目指しています。

本学の多岐にわたる地域志向の取組により、学生ならびに教職員の地域を志向する意識が醸成されていることが実際に肌で感じられ、参画いただいている多数の企業や県民・市民の皆様には、大変感謝しております。

本事業の期間は、あと1年を残すのみとなりましたが、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



弘前大学
理事(企画担当)・副学長

吉澤 篤

「地域志向」大学改革宣言（学長宣言）



「地域志向」大学改革宣言（学長宣言）

今日、地域が抱える課題は一層多様・複雑化し、その解決のためには、広範な英知の結集が不可欠です。

こうした中、弘前大学は「知の拠点」となることが「地の拠点」につながると確信し、今後とも地域の課題解決に貢献する一層の取り組みを進め、「世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学」を目指してまいります。

このため、以下の方針を本学の教職員、学生諸君と共有し、地域を志向した大学改革を推進することを、学長としてここに宣言いたします。

1. 地域の自治体、企業、経済団体、県民等と多様な連携関係を構築し、地域課題の解決に向けた取り組みを進めます
2. グローバルな視点を持って地域の課題を受けとめ、その解決に取り組む人材を育成します
3. イノベーションの創出に寄与する学際的研究、共同研究等を地域と共に進めます
4. 地域の人々の「学び直し」の機会を提供するとともに、学生が協働する地域活動を進めます
5. 大学の国際化を加速し、多様性（diversity）ある大学づくりを進めます

平成26年12月5日

弘前大学長 佐藤 敬